第４号様式（第８条関係）

議　事　録

会議名	寒川町史編集委員会		
日　時	令和８年５月19日（火）10:00～12:00	開催形態	公開
場　所	寒川総合図書館会議室		
出席者	委員：内海委員、松岡委員 事務局：鳥海館長、平尾主査、高木主任主事 傍聴者：なし		
議　題	町史編さん事業の振り返りと今後の展望について		
決定事項	・議事録承認委員に松岡委員が選出された。 ・元寒川町史編集委員の圭室文雄氏・鈴木保彦氏に同席いただき、座談会形式による意見聴取を行った。本日欠席の元委員大口勇次郎氏・鳥養直樹氏には、後日書面にて意見聴取を行う。 ・次回の編集委員会の日程は後日調整する。		
議　事	**（１）議事録承認委員の選出** 松岡委員が選出された。 **（２）町史編さん事業の振り返りと今後の展望について** 本日の目的は、これまでの町史編さん事業の足跡を振りかえり、今後の課題や展望を共有することにある。元寒川町町史編集委員から聴取した意見の内容は、おおよそ次のとおりである。 ○寒川町史編さん事業が他市町村と大きく異なる特色は、準備段階において藤沢賢一町長をはじめ理事者が積極的に関与したことである。児玉幸多先生の招聘、編集委員人事、組織や予算のことなど、町長を交えた打合せを重ね、しっかりした体制のもとスタートすることができた。 ○美術工芸、民俗など歴史学以外の分野も充実させたことも特徴である。 ○高野山高室院文書をはじめ、町外の寺社の資料調査を実施したことで、町域以外での町民の足跡を知る手法を確立させることができた。 ○考古分野では、発掘調査と並行して編集を進めることができたが、本編刊行後の発掘成果をどう活かすかが課題である。 ○文書館ができて、本を作るだけでなく資料の保存・活用の役割が加わり、それが存在意義になっている。 ○町史編さん事業の成果を町民に還元するため、展示、講座、講演などの普及事業を、教育委員会ともタイアップしながら進めてほしい。		

	○活字になっていない資料の翻刻や、ブックレットの発行など、長期的な視野にたって刊行計画を立ててほしい。 ○資料は町民の財産であるという意識を常に持って業務にあたってほしいし、それを外に向かって発信してほしい。 **（3）その他** 次回の編集委員会の日程は後日、別途調整することになった。
資　　料	参考資料１　座談会について 参考資料２　これまで実施した座談会 参考資料３　寒川町史刊行物と委員の任期 参考資料４　『寒川町史研究』記事一覧 参考資料５　町史編さん事業の組織

議事録承認委員及び議事録確定年月日	松　岡　　俊 （令和８年６月 25 日確定）